

厚生労働省委託事業

がん診療連携拠点病院PDCAサイクル体制強化事業

2021年度  
都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会  
PDCAサイクルフォーラム  
(2022/02/01)

がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ

座長 藤 也寸志

(国立病院機構 九州がんセンター 院長)

# 第3期がん対策推進基本計画（平成30年3月9日閣議決定）（概要）

2018年

## 第1 全体目標

「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」

①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ②患者本位のがん医療の実現 ③尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

## 第2 分野別施策

### がん診療提供体制のあり方に関する検討会

### がんとの共生のあり方に関する検討会

#### 1. がん予防

- (1)がんの1次予防
- (2)がんの早期発見、がん検診（2次予防）

#### 2. がん医療の充実

- (1)がんゲノム医療
- (2)がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法
- (3)チーム医療
- (4)がんのリハビリテーション
- (5)支持療法
- (6)希少がん、難治性がん（それぞれのがんの特性に依じた対策）
- (7)小児がん、AYA(※)世代のがん、高齢者のがん（※）Adolescent and Young Adult: 思春期と若年成人
- (8)病理診断
- (9)がん登録
- (10)医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組

#### 3. がんとの共生

- (1)がんと診断された時からの緩和ケア
- (2)相談支援、情報提供
- (3)社会連携に基づくがん対策・がん患者支援
- (4)がん患者等の就労を含めた社会的な問題
- (5)ライフステージに応じたがん対策

2021年12月 中間評価（案）  
（第77回がん対策推進協議会）  
⇒ 2022年報告へ

#### 4. これらを支える基盤の整備

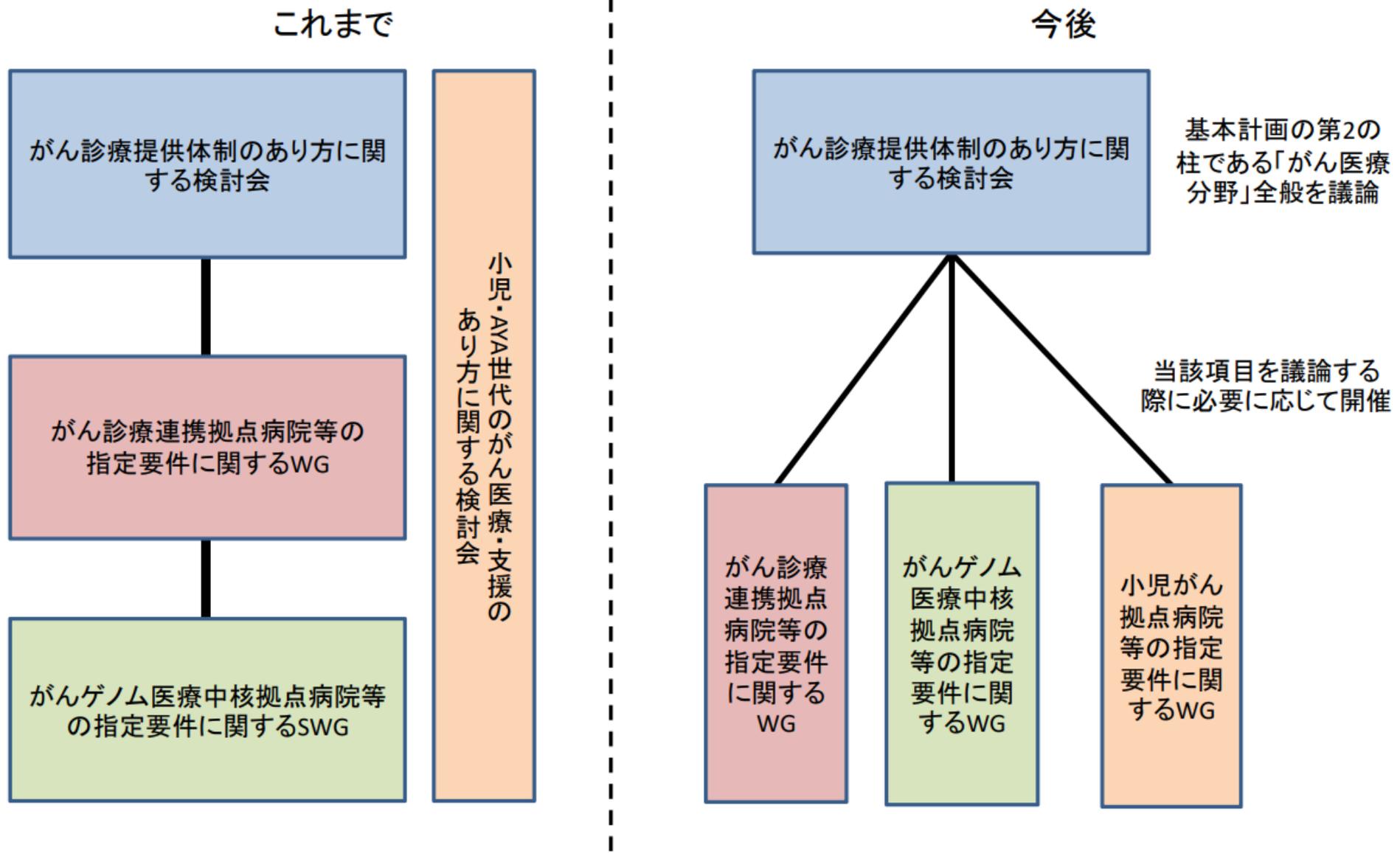
- (1)がん研究
- (2)人材育成
- (3)がん教育、普及啓発

2023年度  
第4期がん対策推進基本計画

## 第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 1. 関係者等の連携協力の更なる強化
- 2. 都道府県による計画の策定
- 3. がん患者を含めた国民の努力
- 4. 患者団体等との協力
- 5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- 6. 目標の達成状況の把握
- 7. 基本計画の見直し

# 現在および今後のがん診療提供体制のあり方に関する検討会について



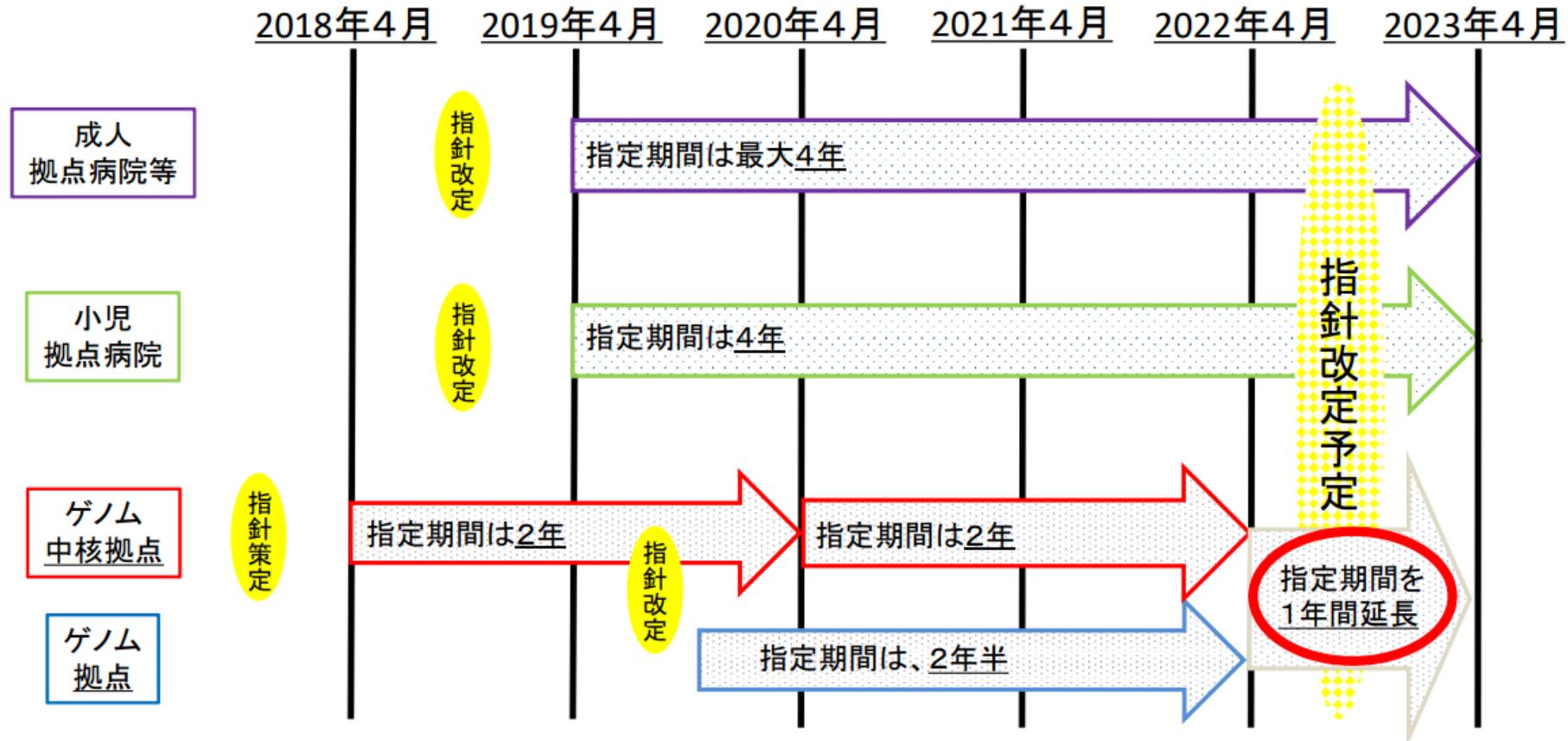
# 各拠点病院等の指針改定と指定期間について(案)

## <論点>

- ・ がんゲノム医療中核拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院については、今年度中に指針を改定したうえで、来年度より新規指定を行う予定としていたところ。
- ・ 他方、ゲノム医療については、遺伝子パネル検査が保険収載されるなどしているものの、医療提供に必要な体制等につき大きな変化はない。
- ・ また、今後の活用が期待される全ゲノム解析等について、医療機関に求められる機能・役割等の議論が正に現在進められている状況である。

## <対応案>

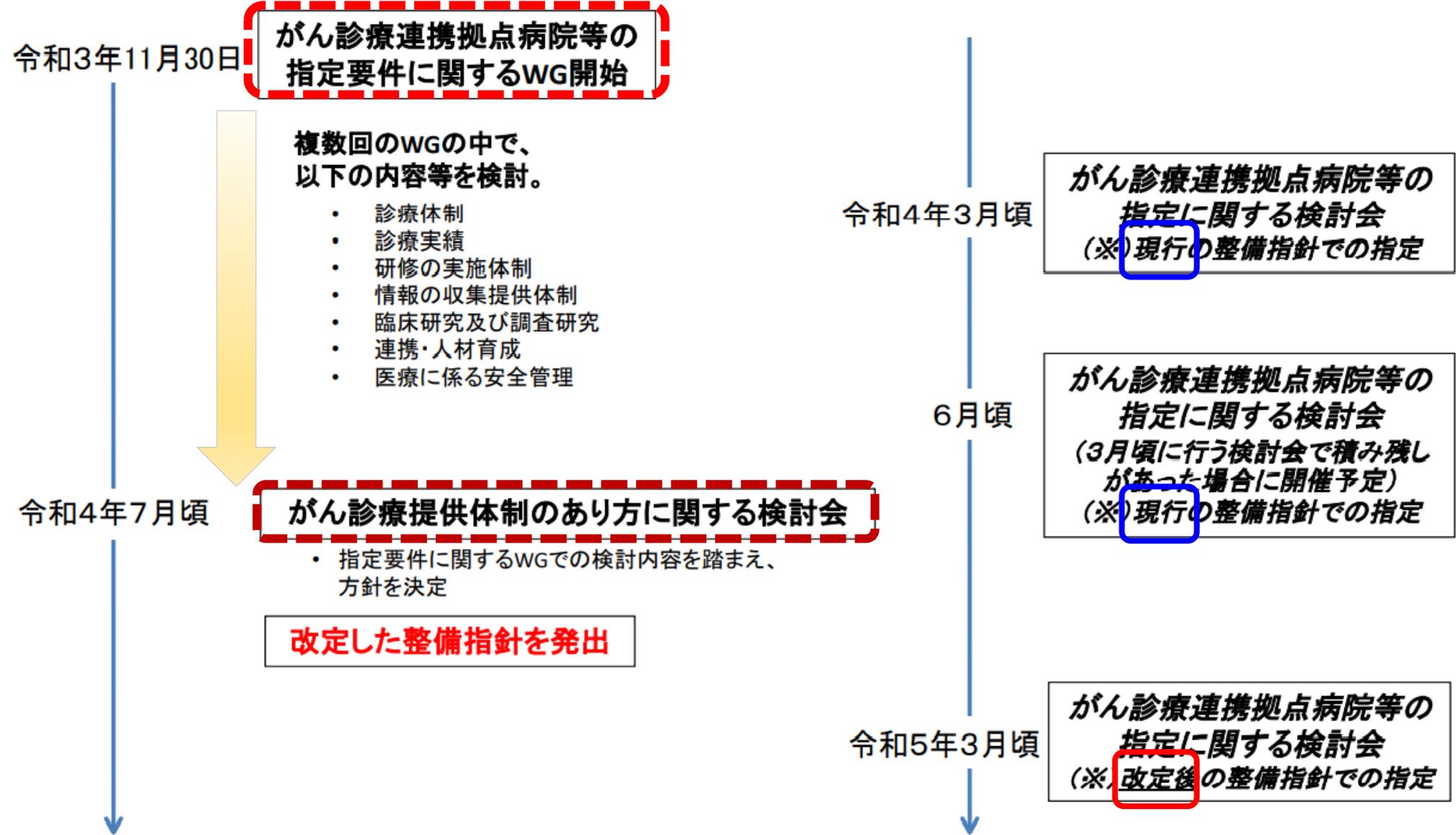
- ・ 全ゲノム解析等の医療実装も見据えた体制とするため、がんゲノム医療中核拠点病院等の指針改定は、来年度に行うこととしてはどうか。
- ・ それにともない、現在指定されているがんゲノム医療中核拠点病院・拠点病院の指定期間を、一年間延長してはどうか。



# がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するWG 委員名簿

氏名	役職・所属
大西 洋	国立大学法人山梨大学医学部 放射線医学講座 教授
久保 祐子	公益社団法人日本看護協会 看護開発部 部長
小寺 泰弘	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 教授
鈴木 直	学校法人聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 教授
田村 恵子	国立大学法人京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 先端中核看護科学講座緩和ケア看護学分野 教授
津端 由佳里	国立大学法人島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 診療教授
藤 也寸志	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 院長
早坂 由美子	公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会 理事
東 尚弘	国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター センター長
増田 しのぶ	学校法人日本大学医学部 病態病理学系腫瘍病理学分野 教授
増田 昌人	国立大学法人琉球大学病院がんセンター センター長/診療教授
松本 陽子	NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長

# がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するWGの進め方(案)



# がん診療連携拠点病院等

令和3年10月1日時点

## がん診療連携拠点病院:405か所

- 都道府県知事はその診療機能等が高いものとして推薦し指定の検討会で指定される。
- 高い診療機能、多様な治療法、緩和ケアの提供に加え、地域連携の推進、セカンドオピニオンの提示等に対応する。

## 地域がん診療病院:46か所

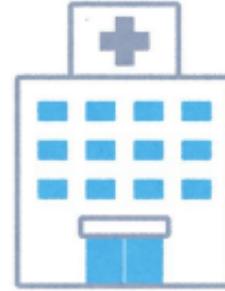
- がん診療連携拠点病院のない医療圏でがん医療を担う。
- がん診療連携拠点病院とグループ指定を受ける。

### 都道府県がん診療連携拠点病院(51か所)



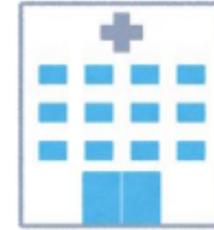
- 都道府県における中心
- 都道府県下の拠点病院等のとりまとめ

### 地域がん診療連携拠点病院(351か所\*)



- がんの医療圏に原則1か所整備
- 専門的ながん医療の提供・連携体制の整備

### 地域がん診療病院(46か所)



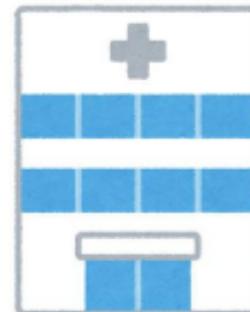
- がん診療連携拠点病院のないがんの医療圏に1か所整備

### 国立がん研究センター(2か所)



- がん対策の中核的機関としてがん医療を牽引
- 都道府県拠点病院と連携し連絡協議会を開催

### 特定領域がん診療連携拠点病院(1か所)



- 特定のがんについて都道府県内で最も多くの患者を診療

\*地域がん診療連携拠点病院の中には更に  
類型が3つある。

地域がん診療連携拠点病院(高度型):50か所  
地域がん診療連携拠点病院:296か所  
地域がん診療連携拠点病院(特例型):5か所

# がん診療連携拠点病院等における指定要件の見直しについて

各検討会等での意見を踏まえるとともに、

- ① 「第3期がん対策推進基本計画」
- ② 「患者体験調査報告書 平成30年度調査」
- ③ 「平成30年度患者体験調査に基づく提言書」
- ④ 「患者さまが受けられた医療に関するご遺族の方への調査 平成30年度調査結果報告書」
- ⑤ 「がん診療連携拠点病院等の実態把握とがん医療提供体制における均てん化と集約化のバランスに関する研究（若尾班）」

の内容等を参照し、整備指針の指定要件に沿って、さらに要件に含まれていないものも加えて見直しの論点（案）を抽出した。

# 第3期がん対策推進基本計画（平成30年3月9日閣議決定）（概要）

2018年

## 第1 全体目標

「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」

①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ②患者本位のがん医療の実現 ③尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

## 第2 分野別施策

### がん診療提供体制のあり方に関する検討会

### がんとの共生のあり方に関する検討会

### がんの緩和ケアに係る部会

#### 1. がん予防

- (1)がんの1次予防
- (2)がんの早期発見、がん検診（2次予防）

#### 2. がん医療の充実

- (1)がんゲノム医療
- (2)がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法
- (3)チーム医療
- (4)がんのリハビリテーション
- (5)支持療法
- (6)希少がん、難治性がん（それぞれのがんの特性に応じた対策）
- (7)小児がん、AYA(※)世代のがん、高齢者のがん（※)Adolescent and Young Adult: 思春期と若年成人
- (8)病理診断
- (9)がん登録
- (10)医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組

#### 3. がんとの共生

- (1)がんと診断された時からの緩和ケア
- (2)相談支援、情報提供
- (3)社会連携に基づくがん対策・がん患者支援
- (4)がん患者等の就労を含めた社会的な問題
- (5)ライフステージに応じたがん対策

2021年12月 中間評価（案）  
 （第77回がん対策推進協議会）  
 ⇒ 2022年報告へ

#### 4. これらを支える基盤の整備

- (1)がん研究
- (2)人材育成
- (3)がん教育、普及啓発

## 第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 1. 関係者等の連携協力の更なる強化
- 2. 都道府県による計画の策定
- 3. がん患者を含めた国民の努力
- 4. 患者団体等との協力
- 5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- 6. 目標の達成状況の把握
- 7. 基本計画の見直し

基本計画にあるのに、  
 現・整備指針に反映  
 されていないテーマに  
 ついても考える。

2

第7回がん診療拠点病院等の 指定要件に関するワーキンググループ 令和3年11月30日	参考資料 4
--	-----------

患者体験調査報告書  
平成30年度調査 **2018年**

2016年患者の調査

令和2年10月  
厚生労働省委託事業  
国立がん研究センターがん対策情報センター

3

第7回がん診療拠点病院等の 指定要件に関するワーキンググループ 令和3年11月30日	参考資料 5
--	-----------

平成30年度 **2018年**  
患者体験調査に基づく提言書

令和2年11月  
厚生労働科学研究費補助金  
(がん対策推進総合研究事業)

4

厚生労働省委託事業  
がん患者の療養生活の最終段階における実態把握事業

患者さまが受けられた医療に関するご遺族の方への調査  
平成 30 年度調査結果報告書

国立がん研究センター がん対策情報センター  
2020年10月

5

厚労科研・若尾班  
がん診療連携拠点病院等の実態把握  
とがん医療提供体制における均てん化と  
集約化のバランスに関する研究

がん診療連携拠点病院等の  
実態/指定要件に関する調査  
(2021年)

都道府県拠点  
地域がん拠点  
地域がん診療

X

全拠点病院で必要  
一部の施設で必要  
無回答

2020年度：都道府県拠点病院に対するアンケート

**2021年度：PDCAサイクルフォーラムでの議論**

# 見直すべき項目の抽出

- 「望ましい」等の要件について
- 地域拠点（高度型）のあり方
- 体制を確保すべき対象とするがん種
- 情報の届け出
- クリティカルパス
- キャンサーボード
- 希少がん
- 小児がん患者の長期フォローアップ
- A Y A 世代のがん
- 妊孕性温存療法
- 就労支援の充実
- 手術療法、放射線治療、薬物療法の提供体制
- 緩和ケアの提供体制
- 地域連携の推進体制
- セカンドオピニオン
- 病理診断に携わる医師の配置
- 相談支援センター
- 情報公開
- 研究
- 要件未充足への対応
- BCP（事業継続計画）的な視点に基づく診療体制の確保について
- ICT 技術の利活用の促進
- リハビリテーション
- ピアサポートの促進
- 高齢者
- アピアランスケア
- その他

# がん診療連携拠点病院等の指定要件に関する ワーキンググループの基本的スタンス

がん医療の質の向上を担保しながら、  
がん診療連携拠点病院等の指定要件を見直す

がん対策推進基本計画の推進



がん診療連携拠点病院等の  
持続可能性は？

不足している領域はないか？  
時代の変化に対応できているか？

厳格化による負担増に対応が可能か？  
要件に対する理解を促進する視点があるか？

課題：地域格差・拠点病院間の格差の問題をどうするか？

課題：評価の方法は現状のままでいいか？

課題：集約化をどのようにするのか？